

平成31年度

重要事項要望書



笑顔みちる水都 とくしま

徳島市

日ごろは、徳島市政の推進につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、徳島市を取り巻く社会情勢は、少子高齢化の進行や都市部への人口流出による地域の活力低下、南海トラフ地震をはじめとする自然災害リスクの高まり、さらには、高速道路の延伸による市内中心部と関西圏の直結など、大きく変化してきております。

こうした中、徳島市では、平成29年3月に策定した10年間の新たなまちづくりの指針となる「徳島市まちづくり総合ビジョン」に基づき、様々な施策を展開し、「市民満足度の高いまちづくり」に全力で取り組んでおります。

加えて、本年度、新たに「徳島市行財政改革推進プラン2018」をスタートさせ、徹底した内部努力や事務事業の見直しによる経費の節減のほか、歳入の確保につながる取り組みなど、総合ビジョンに掲げる将来像「笑顔みちる水都 とくしま」の実現に向け、将来を見据えた健全な行財政基盤づくりに努力しているところでございます。

しかしながら、徳島市ならではの強みを生かした独自のまちづくりを機動的かつ戦略的に推進し、周辺自治体との連携強化を十分に図りながら、「県都とくしま」を再生させるためには、徳島市自らの努力はもちろんですが、徳島県のご支援やご協力が必要不可欠でございます。

つきましては、平成31年度徳島県予算の編成に際し、徳島市にとって必要かつ緊要な別添の要望事項について、是非ともご理解と特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月

徳島県知事 飯 泉 嘉 門 殿

徳島市長 遠 藤 彰 良

平成31年度 重要要望事項 目次

県主管部局	要 望 事 項	頁
危機管理部 農林水産部	食肉センター事業への支援について	1
政策創造部 教育委員会	グローバル化に対応した外国語教育施策の推進について	3
県土整備部	徳島市内の鉄道高架事業の推進について	5
県土整備部	高規格道路等の整備促進について	7
県土整備部	県施行による一般道路事業の推進について	9
県土整備部	県管理河川の治水対策の促進について	11

食肉センター事業への支援について

< 県主管部局 危機管理部 ・ 農林水産部 >

【要望の趣旨】

施設・設備の老朽化や処理頭数の減少などの課題を抱えている本市食肉センターの運営に対する支援について要望するもの。

◆現況・課題等

現況

- 当センターは、県内でと畜される牛の約90%を処理している県域における基幹的な流通拠点施設。
- 畜産振興・徳島ブランドの育成を進める重要な役割を担っている。
- 食肉の輸出に向けた海外戦略を行ううえで、当センターの役割が、より重要度を増している。



食肉センター

課題

- 施設等の老朽化に伴う多額の修繕費用や処理頭数の減少及び食肉の安全基準の厳格化。

本市単独で運営継続が困難

- 海外市場への販路拡大等、グローバル化に不可欠な国際的な衛生管理基準HACCPやハラール等に対応した高度な衛生管理ができる施設整備が必要。

現施設では対応が困難

当センターが県域における基幹的な流通拠点施設としての役割を果たしていくためには、徳島県の積極的な支援が必要である

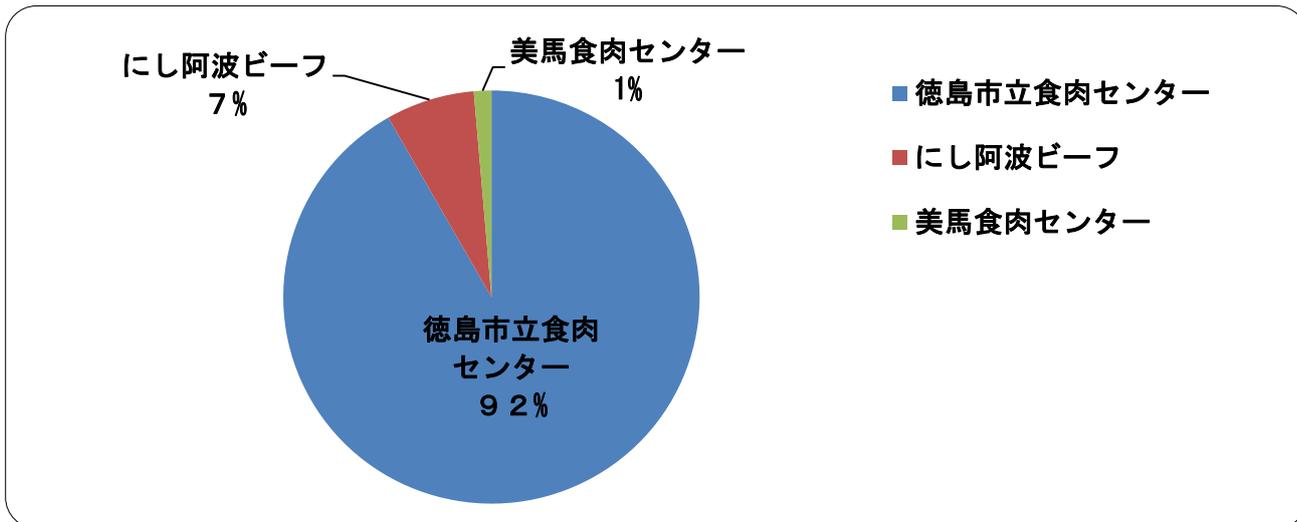
◆具体的要望内容

本市食肉センターの経営の安定化及び適正規模の新施設整備のため、次の事項について特段のご配慮をお願いいたします。

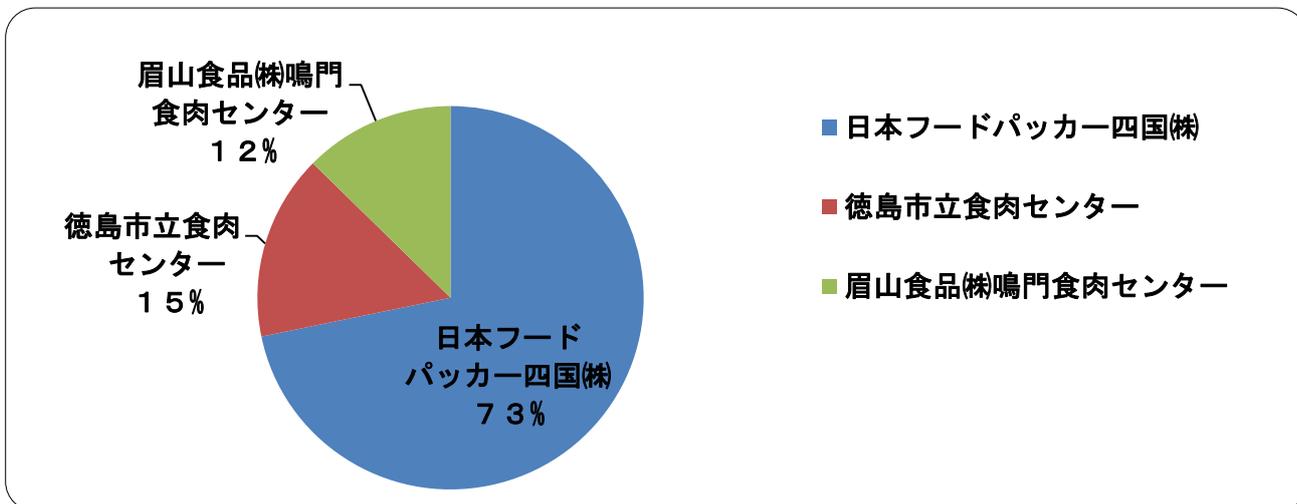
- ① 徳島県全体のさらなる畜産振興のため、県内食肉処理施設の再編合理化の推進
- ② と畜場衛生確保対策事業補助制度の継続及び補助限度額の増額
- ③ 食肉センター新施設整備に伴う県補助金等の支援

徳島市担当部課名 経済部 農林水産課

1 徳島県内牛のと畜頭数割合（平成29年度実績）



2 徳島県内豚のと畜頭数割合（平成29年度実績）

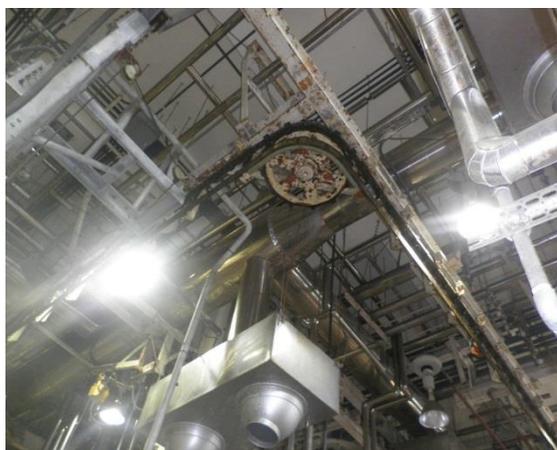


3 老朽箇所（抜粋）

(1) 大動物懸肉室（R-12）冷蔵設備



(2) インクラインコンベア



(1) 夏場は、室外機に水を掛けながらでなければ温度が下がらない状況である。

(2) 駆動部や解体線ラインは老朽化により劣化が著しい。

グローバル化に対応した 外国語教育施策の推進について

＜ 県主管部局 政策創造部・教育委員会 ＞

【要望の趣旨】

児童生徒のコミュニケーション能力向上のため、JET-ALT 及び JET プログラムコーディネーター配置に係る地方財政措置の継続的な実施とさらなる充実、小学校英語専科教員やコーディネーターの加配措置充実への積極的な支援を要望するもの。

◆ 現況・課題等

現 況	課 題
<p>【次期学習指導要領の施行 (H32～)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国語教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・授業時数の拡大、指導体制の強化 <p>【徳島市の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グローバル化に向けて先行実施 ○ALT の増員 <ul style="list-style-type: none"> ・ H29 年度: 4 人 (計 14 人) ・ H30 年度: 4 人 (計 18 人) ◇ALT が活用されている授業時数割合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 47% (61.7%) ・ 中学校 20% (22.1%) ※H30 年度見込。()は H27 年度全国平均 < 目標値 (H38 年度) > <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 70% ・ 中学校 50% ○英語教育研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●ALT のさらなる配置増員が不可欠 ●ALT を支援する人材が必要 ●各小学校への英語専科教員やコーディネーターの配置が必要

グローバル化に対応したコミュニケーション能力の向上を図るためには、「JET-ALT や JET プログラムコーディネーターの配置増員」、「小学校における英語専科教員やコーディネーターの加配措置充実」が必要である

◆ 具体的要望内容

グローバル化に対応した外国語教育施策の推進について、国に対し積極的に働きかけていただきますよう特段のご配慮をお願いいたします。

- ① JET-ALT 及び JET プログラムコーディネーター配置に係る地方財政措置の継続的な実施とさらなる充実
- ② 小学校における英語専科教員やコーディネーターの加配措置のさらなる充実



A L T の活動

徳島市担当部課名 教育委員会 教育研究所

1 徳島市における ALT 配置状況及び計画

	ALT 増員数	ALT 人数	ALT の授業活用率		備 考
			小学校	中学校	
平成 28 年度	0	10 人	47.8%	16.5%	
平成 29 年度	+4 人	14 人	54.0%	24.0%	
平成 30 年度	+4 人	18 人	47.0%	20.0%	・ 小学校で、一部先行実施。 ・ 外国語活動の授業時数が 3 倍に増加。
平成 31 年度	+3 人	21 人	53.0%	25.0%	
平成 32 年度	+2 人	23 人	66.0%	25.0%	

平成 38 年度の目標値	<u>70%</u>	<u>50%</u>	
--------------	------------	------------	--

※平成 30 年度以降の数値は、予定及び見込数。

2 ALT 増員に伴いかかる費用（概算）・・・1 人当たり

非常勤職員報酬	320,100 円 × 12 ヶ月	3,841,200 円
家賃	50,000 円 × 12 ヶ月	600,000 円
バス代（通勤費）	3,000 円 × 12 ヶ月	36,000 円
赴任費	90,000 円	90,000 円
寝具等	17,000 円	17,000 円
図書費	10,000 円	10,000 円
自転車	30,000 円	30,000 円
ヘルメット	6,000 円	6,000 円
自治体国際協会特別会員費	72,000 円	72,000 円
渡航費負担金	155,000 円	155,000 円
JET 傷害保険負担金	30,000 円	30,000 円
オリエンテーション参加費	30,000 円	30,000 円
指導力向上研修	6,000 円	6,000 円
		計 4,923,200 円

徳島市内の鉄道高架事業の推進について

＜ 県主管部局 県土整備部 ＞

【要望の趣旨】

本市が取組を進めているまちづくりと一体となった鉄道高架事業の推進について、要望するもの。

◆現況・課題等

現況

- J R 高德線、徳島線及び牟岐線
 - ⇒ 本市中心部は、様々な都市機能が集積する本県の政治・経済・文化の中核であるとともに、交通の要衝となっている。
 - ⇒ J R は陸上交通の大動脈として、県勢全体の発展に大きな役割を果たしている。
- 佐古駅を中心とした 3.7 km 区間が平成 7 年に完成
 - ⇒ 新たな道路や高架側道の整備により、交通渋滞が緩和され、また高架下を駐輪場に活用するなど、利便性の高いまちが構築され、都市の活性化が進んでいる。

課題

●徳島駅西－文化の森駅付近(4.7km)

多くの踏切(13箇所)や立体交差により円滑な移動ができない

様々な都市活動の支障となり、中心市街地の活力が低下

まちの魅力を生かしてきていない

さらには

避難路の確保や救命・救急活動の迅速化等、災害に強いまちづくりが喫緊の課題

将来に向けて本市が持続的に発展していくためには、まちづくりと鉄道高架事業を一体として行う必要がある

◆具体的要望内容

徳島市では、鉄道高架事業と一体化した徳島駅周辺の整備により、中心市街地におけるにぎわいの創出やまちの魅力づくりを可能とする新たなまちづくり計画を策定いたしました。今後、まちづくり計画の内容の深度化を図り、その実現に向けて取り組んでいくところでございます。

つきましては、本市が取組を進めている駅周辺のまちづくりへの協力と鉄道高架事業全体の早期完成に向けて、特段のご配慮をお願いいたします。

徳島市担当部課名 都市整備部 まちづくり推進課

徳島市内の鉄道高架事業の概要図



高規格道路等の整備促進について

＜ 県主管部局 県土整備部 ＞

【要望の趣旨】

広域交流の活性化や中心市街地の慢性的な交通渋滞の解消を図るため、四国横断自動車道の早期整備及び徳島自動車道の早期4車線化並びに徳島環状道路の整備促進について、要望するもの。

◆現況・課題等

四国横断自動車道・徳島自動車道

- ・四国の高速道路ネットワークを形成
- ・本市と京阪神圏との広域交流に大きな効果を発揮

高速道路
を補完

徳島環状道路

- ・本市中心市街地周辺の交通渋滞の解消に大きく寄与

現況

- 四国横断自動車道
 - ⇒徳島東IC-徳島JCT間は、H31年度供用に向け整備中。
 - ⇒津田IC-徳島東IC間は、H32年度供用に向け整備中。
- 徳島自動車道
 - ⇒暫定2車線区間が約8割。
 - 阿波PA付近7.5kmの付加車線を整備中。



- 徳島環状道路
 - ⇒末広住吉工区内のランプは、H30年度供用に向け整備中。

課題

- 四国横断自動車道
 - ⇒高速道路の建設に伴い影響を受ける地域の道路、水路、集会所等の整備が必要。
 - ⇒堤外の徳島県木材団地内では「津波避難場所」が不足。
- 徳島自動車道
 - ⇒利用者の安全性、快適性が不十分。
 - ⇒大規模災害の対応に不安。
- 徳島環状道路
 - ⇒都市内交通や通過交通が市中心市街地に集中するため、交通渋滞が慢性化し、日常生活や地域の経済活動に深刻な影響を及ぼしている。

生産性を高め地域の活性化を図るためには
高規格道路等の整備を促進する必要がある

◆具体的要望内容

高規格道路等の整備促進について、特段のご配慮をお願いいたします。

- (1) 四国横断自動車道の整備促進
 - ① 小松島IC-徳島JCT間の側道整備事業及び周辺対策事業に対する支援
 - ② 津田ICの整備促進及び高速道路を活用した津波避難施設の整備
- (2) 徳島自動車道の早期4車線化
- (3) 徳島環状道路の整備促進
 - ① 徳島東環状線（末広住吉工区、新浜八万工区）
 - ② 徳島西環状線（国府工区、国府藍住工区）

徳島市担当部課 都市整備部 広域道整備課、危機管理局 危機管理課

県施行による一般道路事業の推進について

＜ 県主管部局 県土整備部 ＞

【要望の趣旨】

本市と隣接市町村を結ぶ主要幹線道路の渋滞緩和や安全で安心な道路環境を確保するため、早期に道路の拡幅や施設整備の推進について要望するもの。

◆現況・課題等

現況

○国道 438 号ほか 2 路線

- ・自動車等の交通量が多い
- ・局部的に道路幅員が狭小
- ・道路網が不十分

課題

- 朝夕のラッシュ時には、交通渋滞が起こりやすく、交通事故も発生しやすい。

交通渋滞の緩和や安全で安心な道路環境を確保する必要がある

◆具体的要望内容

次の路線の早急な道路拡幅改良や施設整備の推進などについて、特段のご配慮をお願いいたします。

(1) 渋滞緩和のため早期に計画を立て、推進していただきたい路線

- ① 国道 438 号のうち城南町 1 丁目から園瀬橋の間の拡幅改良整備



国道 438 号

(2) 現在進行中であるが、なお一層推進していただきたい路線

- ① 県道西黒田中村線として、市道西黒田芝原線を活用した県道第十白鳥線までの拡幅改良及び新道整備
⇒交通ネットワーク向上のため
- ② 県道徳島上那賀線のうち飯谷町大ノ上地区の拡幅改良整備
⇒大ノ上地区の道路幅員が狭くなっており危険であるため

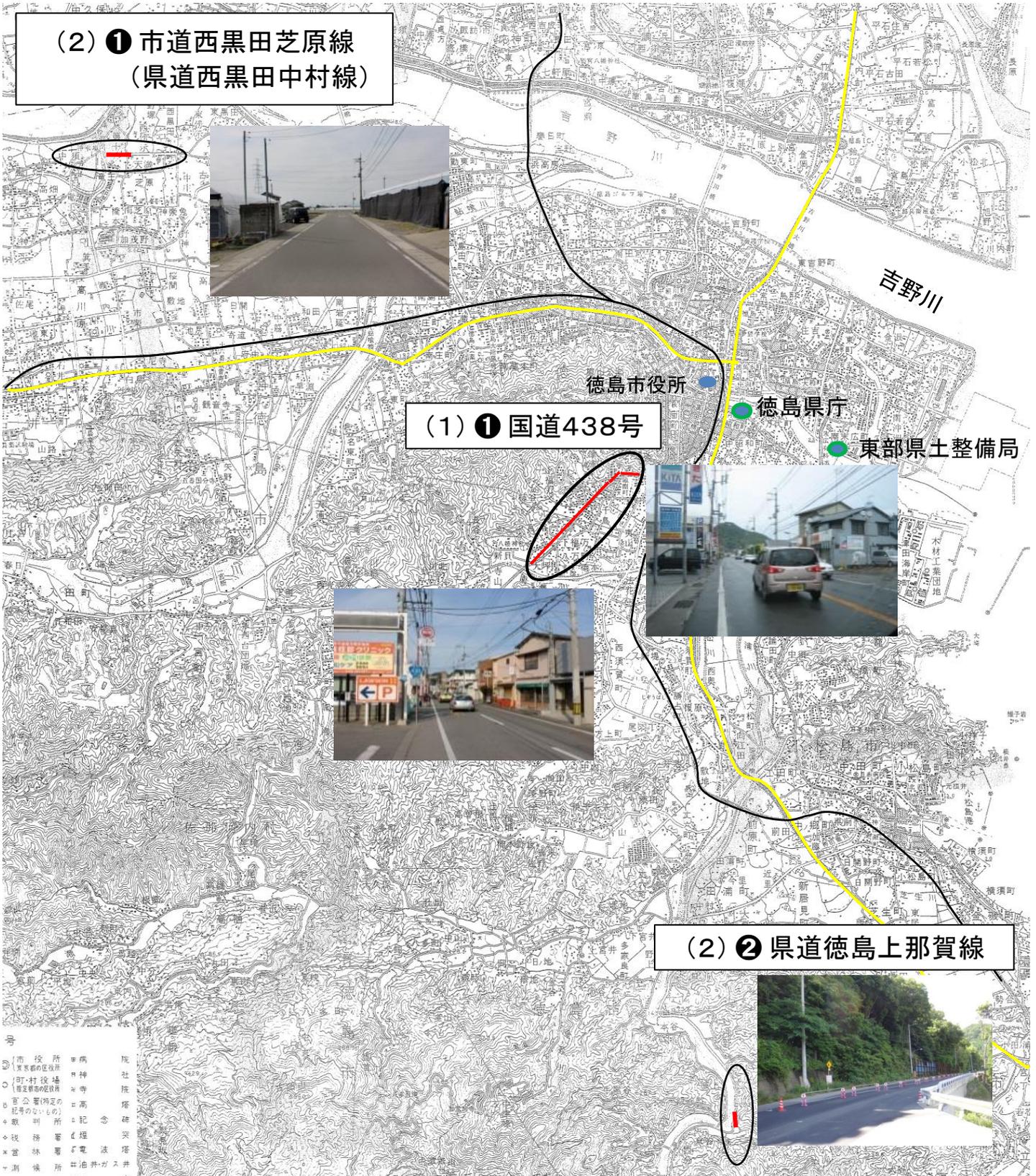


県道徳島上那賀線

道路用地取得が難航している県事業において、市が積極的に協力することにより事業の推進を図ります。

徳島市担当部課名 土木部 道路建設課

重要事項の要望場所図



承認番号 平30徳島市指令第127号

県管理河川の治水対策の促進について

＜ 県主管部局 県土整備部 ＞

【要望の趣旨】

台風等による浸水被害の軽減を図るため、徳島市内の県管理河川における治水対策の促進について、要望するもの。

◆現況・課題等

現 況

- 園瀬川
⇒改修工事が進んでいるが、無堤防地区が解消されていない。
- 多々羅川
⇒河道拡幅等の未整備箇所が多く残っている。
- 打樋川
⇒排水対策が必要である。
- 飯尾川
⇒河川改修、排水対策が必要である。

課 題

- 大規模な台風やゲリラ豪雨の発生時には、流域で河川が氾濫し、甚大な被害が発生することが懸念される。



【園瀬川】川西地区・明善地区の堤防整備及び上中筋地区の漏水対策の促進

市民の安全かつ安心な生活を確保するための対策が必要である

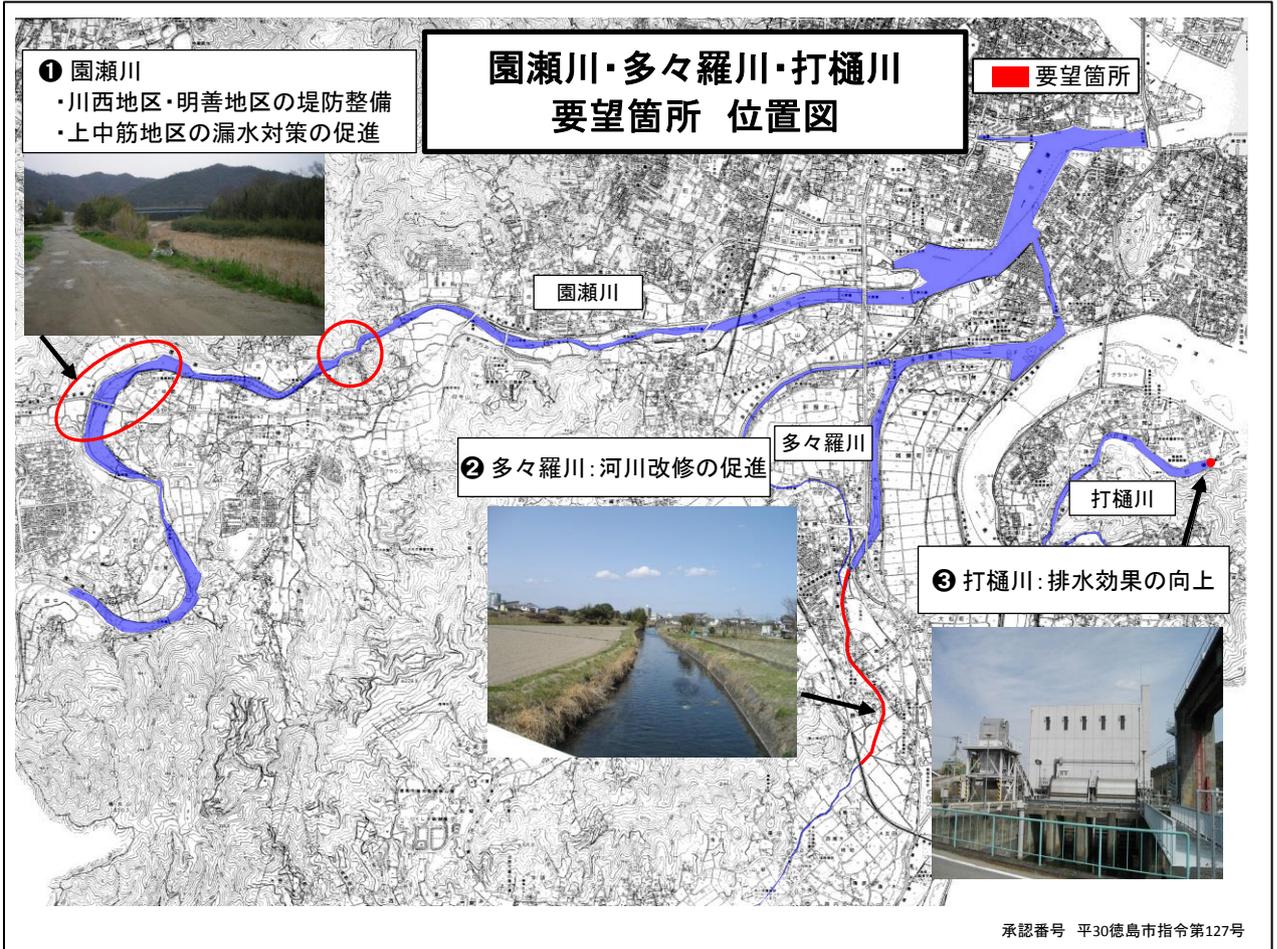
◆具体的要望内容

県管理河川における治水対策の促進に向け、予算枠の拡大と未整備箇所の事業促進について、特段のご配慮をお願いいたします。

- ① 園瀬川 川西地区・明善地区の堤防整備及び上中筋地区の漏水対策の促進
- ② 多々羅川 河川改修の促進
- ③ 打樋川 排水能力の向上
- ④ 飯尾川 西大堀川、東大堀川の河川改修の促進、加減堰左岸側の撤去は角ノ瀬排水機場の排水能力及び下流部の流下能力に応じたものにする

用地取得が難航している県事業において、市が積極的に協力することにより事業の推進を図ります。

徳島市担当部課名 土木部 下水道事務所 保全課





Tokushima City